

防災ゲーム「クロスロード」体験 ～共感・共有のファシリテーションツールを体験しよう～

防災ゲーム「クロスロード」

「岐路・分かれ道」を意味する「クロスロード」。

阪神・淡路大震災の体験を元に作られたカードゲーム形式の防災教材です。

質問を聞いてイエスカノーで答え、その答えを選んだ理由をお互いに聞きあうことで多様な視点や価値観に出会うことができます。

シンプルなつくりの中に、ファシリテーションの仕掛けが盛り込まれた新しいコミュニケーションツール。

東日本大震災以降、全国の危機管理・防災関係者から注目を集める一方、地域活動からビジネスまで応用範囲は無限に広がろうとしています。

「ファシリテーション～facilitation～」

直訳すると【容易にすること、円滑にすること、促進、助長】

論点整理、合意形成はもとより、参加者の発言を促したり、アイデアが出やすい環境をつくることなど、会議やプロジェクトをスムーズに進行させる上で必要な技術。

「クロスロード」を体験することで、だれもが悩むジレンマをみんな
で共有し、考える過程を通して、ファシリテーションのヒントを学び、
社会生活の様々な場面で活かせる力を身につけます。

日時 令和元年（2019年）11月30日（土）

10：00～17：00（途中1時間休憩）

場所 熊本県立大学 CPDセンター

参加費 無料

対象者 中学生以上（未経験者大歓迎！）

申込み E-mail kendai-cpd@pu-kumamoto.ac.jp

FAX 096-387-2987

電話 096-321-6612

11/27
締切

いずれかの方法で、参加者氏名、年齢、職業
（学校名・学年）を御連絡ください。

メールはコチラから

